

大学のダイバーシティ・マネジメント： 日本の高等教育機関の課題

山田 礼子 氏 (同志社大学社会学部長)

講演概要

近年、ダイバーシティ・マネジメントが企業の人事制度においては積極的に導入されつつある。ダイバーシティとは、個人や集団間にある様々な違い、いわゆる「多様性」を意味し、ダイバーシティ・マネジメントとは、経団連の 2012 年の定義によれば、「多様な人材を活かし、その能力が最大限発揮できる機会を提供することで、イノベーションを生み出し、価値創造につなげている経営」とされている。このように日本では、企業のイノベーションにつながるための人事制度・経営と捉えられてきたが、高等教育機関においても、「ダイバーシティ・マネジメント」は重要な制度として浮上りつつある。

ダイバーシティ・マネジメントは「多様性の促進」という点から、米国の高等教育では 1960 年代から進捗してきており、かつ大学教育の効果という意味でも、「多様性の促進」は重要な要素であると捉えられている。一方、日本の高等教育機関では、外国人や女性研究者・教員雇用の数値的目標として「ダイバーシティ・マネジメント」が捉えられているようにも見受けられる。本発表では、これまでの米国でのダイバーシティを巡る動向を検討したうえで、日本の高等教育機関を対象に「ダイバーシティ・マネジメント」の課題について考察する。

2018 年 6 月 29 日 (金) 15:00 – 17:00

場 所：名古屋大学東山キャンパス 文系総合館 5F アクティブラーニングスタジオ

参加のお申込は下記ウェブサイトよりお願いいたします。

<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/seminar/form/>

○いただいた個人情報は、本企画運営の目的にのみ使用いたします。

○ご来場の際には、できる限り公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

構内駐車された場合の用務証明書発行はいたしかねますので、ご了承ください。

お問合せ先：info@cshe.nagoya-u.ac.jp Tel: 052-789-5696